

平成29年 畑作・野菜病害虫発生情報 第8号

作物名：小麦（6月下旬）

“赤かび病の発病穂”が県内全域で広く認められています。
収穫前に赤かび病の発生状況を確認し、多発ほ場では仕分け刈り取りをして下さい。

1. 赤かび病（発生量：平年並）

津軽地域では39地点中34地点と平年より広い範囲で発生が認められた。発病穂率は0.08%と平年より高く、発生程度の高いほ場も散見されている。県南地域では15地点中9地点と平年より発生地点率が高いものの、発病穂率は0.03%と平年より低かった。県全体の発病穂率は平年並であった。

品種別で見ると、津軽地域の「キタカミコムギ」の平均発病穂率は0.11%と「ネバリゴシ」や「ゆきちから」の0.02%～0.04%に比べ高かった。県南地域の「ネバリゴシ」の平均発病穂率は0.03%と津軽地域と同等であった。

赤かび粒混入限界が0.0%（重量パーセントで0.04%以下）であるため、1万粒に4粒程度を超えると流通できなくなる恐れがある。収穫にあたっては事前に赤かび病の発生状況を把握し、本病の多発により罹病粒の混入が懸念されるほ場では、発生のないほ場と仕分けして、収穫・乾燥を行う。

巡回調査における赤かび病の発生状況

地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）					発生地点率（%）	発病穂率（%）
			甚	多	中	少	微		
津軽	本年	39	0	0	0	20.5	66.7	87.2	0.08
	前年	37	0	0	0	18.9	21.6	40.5	0.05
	平年	38	0	0	0	4.7	21.0	25.7	0.02
県南	本年	15	0	0	0	6.7	53.3	60.0	0.03
	前年	14	0	0	0	0	7.1	7.1	0.00
	平年	17	0	0	2.4	16.9	12.5	31.7	0.19
県計	本年	54	0	0	0	16.7	63.0	79.6	0.06
	前年	51	0	0	0	13.7	17.6	31.4	0.04
	平年	53	0	0	0.6	8.6	16.9	26.0	0.06

注1) 発生程度別基準：甚 発病穂率31%以上、多 同11～30%、中 同1.1～10%、少 同0.1～1%、微 同0.1%未満。

注2) 発生程度別地点率の平年値は「微」の階層を採用した2016年～2011年の平均値。

赤かび病の品種別発生状況

地域	品種	調査地点数	赤かび病発病穂率（%）		
			最大	平均	最小
津軽	キタカミコムギ	21	0.70	0.11	0.00
	ネバリゴシ	9	0.05	0.02	0.00
	ゆきちから	9	0.11	0.04	0.01
県南	ネバリゴシ	13	0.22	0.03	0.00
	もち姫	2	0.08	0.06	0.06

注) 平年値：「キタカミコムギ」および「ネバリゴシ」は2011年～2016年の平均値、「ゆきちから」は2012年～2016年、「もち姫」は2013年～2016年の平均値。



[赤かび病発病穂]

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 担当：佐藤、鎌田